

県下の交通事故 (11月30日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
61年	3,989件	102人	5,158人
62年	4,530件	95人	5,975人
比較	+13.6%	-6.9%	+15.8%



◇第78号◇
発行所
甲府市丸の内一丁目6-1
財団法人山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552)37-7827



わき見運転はこわい

交通事故防止県民運動

12月10日～1月10日

年末年始を無事故で

年末年始は、交通が混雑し、あわただしさも加わり、飲酒の機会も多く、交通事故の原因となる条件が重なり、交通事故の多発が予想されます。正しい交通ルールとマナーを実践し事故を防止するために、県交通安全対策本部、県交通安全推進協議会の主催で、十二月十日から一月十日まで「年末年始の交通事故防止県民運動」が実施されます。県内の交通事故死者は昨年と比較し減少しているものの事故件数と傷者数は大幅に増加しています。これ以上死者をださないために県民総ぐるみで運動に参加し、事故防止につとめましょう。

飲酒運転を 絶滅しよう

- 運動の重点**
- 一、飲酒運転の絶滅
 - 二、歩行者・自転車利用者特に子どもと高齢者の交通事故防止
 - 三、二輪車を中心とした無謀運転の追放
 - 四、正しい方法によるシートベルト・ヘルメットの着用徹底
 - 五、マイカー自衛による交通渋滞の解消と交通事故防止

- 歩行者・自転車利用者特に子どもと高齢者の交通事故防止**
- 一、歩行者
 - (1) 街頭における歩行者の保護誘導活動の促進
 - (2) 通学(園)路及び歩行者道路の安全確保
 - (3) 学校周辺、住宅地域、商店街の安全な交通環境の確保
 - (4) 身体障害者等のための誘導用ブロック等の点検整備と障害物の排除
 - 二、自転車
 - (1) 自転車安全利用者の確保のための道路交通環境の点検整備の促進
 - (2) 自転車利用者特に高齢者の交通安全指導の促進
 - (3) 正しい乗り方の指導

- 一、歩行者
 - (1) 街頭における歩行者の保護誘導活動の促進
 - (2) 通学(園)路及び歩行者道路の安全確保
 - (3) 学校周辺、住宅地域、商店街の安全な交通環境の確保
 - (4) 身体障害者等のための誘導用ブロック等の点検整備と障害物の排除
- 二、自転車
 - (1) 自転車安全利用者の確保のための道路交通環境の点検整備の促進
 - (2) 自転車利用者特に高齢者の交通安全指導の促進
 - (3) 正しい乗り方の指導

安全のために 最近の県内における交通事故は、死者、死者減少しているものの、発生件数や傷者は激増しており、大変厳しい状況にあります。皆さんの誰もが交通事故とは無関係ではいられません。家庭の中から、また自分の周囲から加害者も被害者も出さないようお互いに注意することが大切です。南部警察管内は、国道52号線をかかえ、山梨の南の玄関です。県外車も非常に多く、特に土曜、日曜、祭日のツーリンググループが走行する時など、事故や違反の指導取締りで大変です。

当南部署、安協では、運動の重点にマッチしたユニークな各種行事を展開しました。春の交通安全運動では、交通安全祈願署名運動を行い、安協役員全員を総

動員して管内全世帯から六五四名の署名をいただき、身延山久遠寺において、南部署長及び安協役員二十七名が署名簿を仏前に奉納し、永田法要部長ら七名の僧侶のありがたい祈禱を受け無事故を祈りました。この運動は非常に盛り上がりを見せ、私たちの願いが天に通

ユニークな安協活動

南部交通安全協会会長 杉山好史

動員して管内全世帯五九八戸を対象に交通安全意識アンケート調査を実施したところ、三四一三世帯から回答を得ました。この運動は家族全員で交通安全について話し合っているという結果は、一項目ありますが、その主な結果は、

- ウ、飲んだら車をおいてタクシーなどで帰る 17%
- 三、シートベルト・ヘルメットの正しい着用について
 - ア、いつもしている 84%
 - イ、ときどきする 13%
 - ウ、ほとんどしない 3%
- 四、シートベルトの効果についてどう思いますか。
 - ア、ほとんどない 6%
 - イ、絶対にある 60%
 - ウ、わからない 34%



「こんな努力してもか」と力を落としてしまっています。しかし、事故の皆無を願うことが無理としても、またそれが困難な事は承知でも、警察と私たち安全協会をはじめ交通安全関係各団体が一体となり、地域住民の先頭に立って、一件でも事故を減らすために今後より一層努力していきたいと考えております。

昭和63年 交通安全 年間スローガン
— 最優秀作 —

- 守ります ベルトに速度に 車間距離
- 歩行者・自転車利用者向け
- 安全へ つなぐ古いの手 幼い手
- 子どもからの募集
- 無灯火は 乗る人見る人 まっくらけ

- (5) 点検整備指導の徹底
- (4) 自衛車三ビカライ、後部反射、ベタル運動の推進
- (6) 違法駐車、放置防止のための指導の徹底
- (1) 交通安全教育
- (2) 家庭、学校における冬休み中の交通安全話し合いと指導の徹底
- (3) 二歳と母親の交通安全教育の徹底
- (4) 高齢者の集会等の交通安全教育、広報の徹底
- (5) 幼児交通安全クラブ、交通安全少年団、高齢者交通安全クラブ育成と組織化
- (6) 二輪車を中心とした無謀運転の追放

- 一、身体に適した車両の選定、点検整備の励行
- 二、ヘルメットの正しい着用と安全走行の徹底
- 三、運転免許取得時、車両購入時の技能及び安全運転講習の実施強化
- 四、若年運転者の特性に応じた交通安全教育の強化
- 五、無謀運転追放による交通事故防止

- 一、集会等の機会を利用し「ノーマイカー運動」への参加の呼び掛け
- 二、官公庁、事業所等職場等による「ノーマイカー運動」への参加の促進
- 三、広報媒体の活用による広報活動の促進

文差点

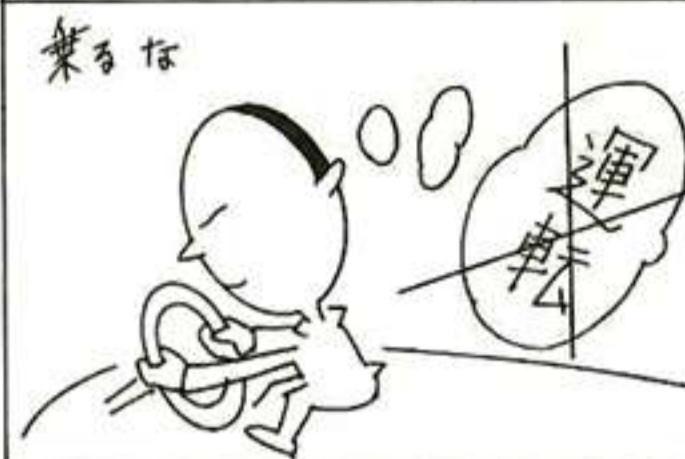
深い紅葉に包まれた甲斐路も立冬を過ぎ、木枯しが吹いてやがて寒波の季節がやってきます。

△今、県内は郷土の英雄・武田信玄公ブームにわいています。NHK大河ドラマ「武田信玄」が新春とともに放映されることになりました。筆者も改めて原作新田次郎氏の著「武田信玄」等を読んで勉強している昨今です。さる十月六日から県営八ヶ岳牧場でロケがはじまり、演出の煙が立ちこめる中、十頭の騎馬が勇壮に駆け抜ける迫力満点のシーンが収録され、以後順調に収録が続いています。ドラマの制作担当チーフプロデューサー村上憲氏は「風林火山」の旗、「人は城」の名文句、この二つがドラマ制作に通じることが企画の最大の理由。また、その行政手腕や多くの信義を得ることができた信玄公と現代の接点を探りたいと言っています。すばらしいドラマの展開により郷土の歴史をふりかえるよい機会になることを期待しています。

▽今年の県内の交通事故発生は依然として厳しい情勢です。交通事故死者は前年に比べて十数人減少しているものの発生件数や傷者数は大幅に増加し、このまま推移すれば、死者二ケタ以下の目標達成も危ぶまれます。▽シートベルト着用義務違反の適用が一般道路に適用されて十月末で一年を経過しました。自動車運転中や原付バイクの交通事故者が減少していることをみても、シートベルト・ヘルメット着用率向上の効果とみられます。しかし、県警の調べによれば今年十月末の交通事故死者で四輪車のベルト着用対象者三十四人のうちベルトをしていないのは、わずか三人八・八%と低率です。事故で車外にはうり出されたり、フロントガラスで頭を強く打ち死亡した者が多く、着用していれば助かった可能性が強いと分析されています。改めて正しい着用を徹底したいものです。

おせー家

年末年始は酒と飲も機会が多い



優秀賞は鯉沢安協

110人に交通栄誉章緑十字銅章

交通安全功労者・団体・優良運転者等

四八八人と二〇〇団体表彰

県警察本部と県交通安全協会主催の昭和六十二年交通安全功労者・優良運転者等の表彰式は、十一月十六日、県民文化ホール小ホールにおいて、望月幸明山梨県知事代理、常盤光雄県議会議長、井嶋一友甲府地検検事正等来賓の臨席のもとに開催されました。



優良安協として優秀賞を受ける柳沢鯉沢安協会長

表彰式は、はじめに全員で交通事故犠牲者に対する追悼の黙とうを捧げて開会し、吉田正弘県警察本部長と高野慶典安協副会長が



労働大臣に就任 中村太郎氏

財団法人山梨県交通安全協会会長の中村太郎氏は、十一月六日発足した竹下内閣の労働大臣に就任されました。

中村氏は、昭和三十四年県議會議員に当選し、以来連続四期議員として活躍され、その間、県議會議長の要職をつとめ、さらに四十九年七月から参議院議員として国政に尽力され、連続して三期目を迎えることになり、内閣副大臣、大蔵政務次官、大蔵委員長、自民党副幹事長、国対委員長等の要職を歴任し、竹下内閣の誕生とともに晴れの労働大臣に就任されました。

中村氏は、政務に精選されながら県交通安全協会・県トラック協会会長等の役員として、協会の育成発展に努められ、交通安全の指導者として抜群の指導力を発揮されました。このたびの大任就任は県民をあげて待望していたところであり、大臣のご活躍が期待されます。

中村氏は、昭和三十四年連続四期議員として活躍され、その間、県議會議長の要職をつとめ、さらに四十九年七月から参議院議員として国政に尽力され、連続して三期目を迎えることになり、内閣副大臣、大蔵政務次官、大蔵委員長、自民党副幹事長、国対委員長等の要職を歴任し、竹下内閣の誕生とともに晴れの労働大臣に就任されました。

中村氏は、昭和三十四年連続四期議員として活躍され、その間、県議會議長の要職をつとめ、さらに四十九年七月から参議院議員として国政に尽力され、連続して三期目を迎えることになり、内閣副大臣、大蔵政務次官、大蔵委員長、自民党副幹事長、国対委員長等の要職を歴任し、竹下内閣の誕生とともに晴れの労働大臣に就任されました。

中村氏は、昭和三十四年連続四期議員として活躍され、その間、県議會議長の要職をつとめ、さらに四十九年七月から参議院議員として国政に尽力され、連続して三期目を迎えることになり、内閣副大臣、大蔵政務次官、大蔵委員長、自民党副幹事長、国対委員長等の要職を歴任し、竹下内閣の誕生とともに晴れの労働大臣に就任されました。

中村氏は、昭和三十四年連続四期議員として活躍され、その間、県議會議長の要職をつとめ、さらに四十九年七月から参議院議員として国政に尽力され、連続して三期目を迎えることになり、内閣副大臣、大蔵政務次官、大蔵委員長、自民党副幹事長、国対委員長等の要職を歴任し、竹下内閣の誕生とともに晴れの労働大臣に就任されました。

交通安全功労者 (交通安全功労者) 末木恒秋、千野友造、川口栄一、中沢光男、小田切貴、戸沢忠雄、秋山忠良、田中実夫、河西富夫、青柳武栄、宇野重男、大柴茂治、渡辺博史、宮沢喜四郎、向井フミ、斎藤幸、長澤富士雄、戸沢栄次、久島晃、近藤雅俊、依田孝夫、伊藤勉、飯塚三郎、渡辺茂一、中村和男、古明地愛明、日原今朝二、井之上正直、広瀬徳

交通安全功労者 (交通安全功労者) 仁、向山静子、橋本晴夫、重森利夫、田辺孫一、小佐野昭、市村西三、山口惣治、瀧口麗、石井幹雄、守岡金久、白鳥民蔵、飯島弘子、津野正美 (優良安全運転管理者) 小林善昭、池田幸三、望月兼太郎、塚越民之助、小宮山福五、堀江洋一郎 (優良功労者) 上野原、大月、長坂 (努力賞) 甲府、南部

交通安全功労者 (交通安全功労者) 好、白鳥二一、古家正明、秋山博、杉本哲男、佐々木博、清水哲男、倉沢和寿、倉野野猪利、倉野野仁、安藤孝治、岩下義雄、有野長雄 (優良功労者) 鯉沢 (努力賞) 甲府、南部

交通安全功労者 (交通安全功労者) 小林岩水、味沢文七、伊藤今朝雄、大久保伊七、近野成伸、石川昌、長田保、保坂輝行、内山茂、矢崎佳子、渡辺孝男、小松今朝友、小松治、萩原利三郎、横山能、山口昭昭、井上伸干、斎藤均、山本祐也、小澤義正、笹本四郎、高石茂則、坂本富雄、河西利長、名取保、望月満、登川静夫、駒井幸子、深沢正樹、小沢三男、横森一成、山本長寿、浅川利治、野村元一、海野子、中澤深、河野幸男、望月保雄、若林俊彦、望月勝信、遠藤昌宏、小泉一郎、木内秀松、小池昭光、近藤家保、一瀬光雄、土橋元雄、大村邦夫、上田敏、土橋元、田中光守、大久保一吉、伊藤高美子、中村喜代子、西村公男、古明地愛明、広瀬正人、大村政啓、水上真澄、萩原智之、千本金次、淡野近、小川良正、小澤和代、水上道子、前田功、渡辺幹雄、米山博光、湯川政義、都倉尚、羽田三三、田中登美男、堀内豊、坂本貞夫、宮野博一、渡辺進、小林政行、宮下正利、小林豊、小林義文、星野実、鯉岡廣文、明月秀、山崎孝夫、小山幸水、水越貞雄、小澤正一、降矢元良、堀内英雄

交通安全功労者 (交通安全功労者) 優良功労者 井上明雄はか二五九名 優良功労者 鈴木一夫はか五名

パーキング・チケット制度

40分間OK、更新は禁止

朝日町通りでスタート

買物や、仕事などで車で来た人のために、パーキングチケット発給機一基(駐車券の自動販売機)を新設して、「二百円」を入れて、パーキング・チケットを買って、それを車のフロントガラスに内側から貼りつけておけば、「四十分」以内に限り、道路上に駐車することができるようになります。

一、利用の仕方について、(一)まず駐車できる場所ですが、甲府市内朝日町通りのまんが道で北に向かつて左側の道路に、白ペイントで駐車枠が標示してあるところで、当面は一度に八台がとめることができます。

二、駐車できるのは、普通乗用車、普通貨物以下の車です。(二)駐車できる時間帯は、毎日午前九時から午後七時までの間の「四十分」以内です。(三)駐車枠の仕方ですが、まず駐車枠内に正しく車をとめて下さい。

三、次にパーキング・チケット発給機のところに行き、(スーパ)浅川店の前付近、二百円を入れて(おつりも出ます)、パーキング・チ

ケットを買って下さい。(四)再び車のところに戻ってパーキング・チケットを車のフロントガラスに内側から貼って下さい。

以上の手続きで駐車ができ、安心して買物や用事を足すことができます。二、次の場合は駐車違反となり、反則キップを切られるほか、レッカー車で移動されることになります。(一)パーキング・チケットを買わないで駐車したとき。(二)パーキング・チケットをフロントガラスに貼布しなかったとき。(三)駐車制限時間(四十分)を超えて駐車したとき。(四)引続きパーキング・

最優秀賞に県警高速隊

第21回交通安全写真コンテスト

県交通安全協会主催、県警察本部、山梨日日新聞社後援の第二十一回交通安全写真コンテストは、八月三十一日締切りました。今年度は、一般的に交通の場面を撮影したものが多かったと見られます。今年度の最優秀賞は、交通安全の啓蒙に役立つと評価され、佳作九点を決めて、入賞者には賞状、賞金を、佳作入選者と参加者に賞金が贈られました。

- 〔最優秀賞〕 県警高速隊 (金賞) 県警高速隊、有泉辰二美 (交換隊) 大柴力 (銀賞) 森本一美 (三崎) 山村文子 (甲府) 依田虎雄 (桐野) 県警高速隊 (銅賞) 依田虎雄 (桐野) 皆川勝広、網野利彦 (鯉沢) 県警高速隊、森本一美 (三崎) 伊藤文昭 (双葉)
- 〔佳作〕 五味利直 (鯉沢) 依田寿 (桐野) 伊藤五十鈴、三井治 (二点) (甲府) 大柴力 (三崎) 県警高速隊 (三点)

第29回県中学生交通安全弁論大会

小野真由美さん(山梨中)優勝

地区代表16人が熱弁



県交通安全協会、NHK甲府放送局、交通山梨新聞社主催の第29回県中学生交通安全弁論大会

交通安全弁論大会は、十月二十三日、甲府市飯田三丁目目のNHK甲府放送局で行われ、県内各地区予選大会で選ばれた十六名の選手が参加し、交通安全について日ごろ考えていることや身をもって体験したことなどを発表した。審査の結果、「やさしさ」と題して自らの二つの体験から、歩行者、お年寄り、子ども、そして対向する車など他人を気づかうやさしさの大切さを訴えた山梨市立山梨南中一年、小野真由美さんが優勝し優勝旗と知事賞を受賞した。

- 【優勝】○知事賞 小野真由美(山梨南中)
- 【準優勝】○県議長賞 名執斎(甲府北東) ○県警本部長賞 矢崎昌子(竜王) ○県教育長 清水京子(甲府南西) ○甲府市長賞 名執斎(甲府北東)
- 【優良賞】橋爪久法(中富) 以下出場順、内藤ひさ美(一宮) 佐野智世(下山) 渡辺尚子(長坂) 新津麻里(甲西) 田島章光(猿橋) 藤原淳(増富) 前田桂(西桂) 深松さゆり(松里) 望月水樹子(市川東) 高橋美和(上野原) 柏木奈緒(明見)

一般Aクラス 三枝選手2位

二輪車安全運転全国大会 第二十回二輪車安全運転全国大会は、八月八・九日の両日、三重県の鈴鹿サーキットで行われ、本県からは県大会で優秀な成績をあげた女性クラス 島田久美子(甲府)、高校生クラス 鷹野公二(竜王)、一般Aクラス 三枝久(御坂)、一般Bクラス 荏本浩二(竜王)の各選手が出場しました。競技は、各都道府県の予選大会で選ばれた選手百八十八人によって、整地コースのA走行と不整地コースのB走行で法規順行と技能の技を競いました。本県選手は終始よく健闘し、団体賞はできませんでした。が、一般Aクラスに出場した三枝選手は九七五点の高得点をえて二位に入賞して優秀ライダー賞を受賞し、また、女性クラスの島田選手も七位となり優良ライダー賞を受賞しました。

指導員体制を強化

指導員・準指導員35名を認定

二輪車安全運転推進委員会(塩川光男委員長)は、自動二輪車と原付車の技能講習の充実を図り二輪車事故を防止するために、県警交通部の指導協力をえて、七月二十四日、八田村の運転免許センターで二輪車安全運転指導員、準指導員の資格認定審査を行い、新たに中央審査委員会の書面審査を終った指導員六名と準指導員二十九名がそれぞれ認定されました。



準指導員審査を受ける受験者

役員研修会を開催

安協婦人部 県交通安全協会(中村太郎会長)は、八月二十日、甲府市宝二丁目ニュー機山で地区安協婦人部の役員研修会を行いました。はじめに、県安協・高野副会長が主催者を代表してあいさつし、次に、県警奈

良田交通部長から交通情勢等の研修を受けました。このあと、婦人部結成の先進県である群馬県交通安全協会連合会の婦人部長・伊達由佳子氏から「交通安全と婦人の役割」と題する特別講演を聞きまし。

講演では、よい交通環境をつくるためには安全マインドの教育の重要性を強調し、婦人部結成の経緯と現況、活動の実態を披露してその育成のためには、全地区の婦人部結成とヤングミセスやよりリーダーの育成の大切さを指摘しました。

株式会社 たいよう共済山梨支店
甲府市丸の内2丁目32-13
日東ビル4階
TEL 0552-28-0691

あれはたしか、小学校六年の冬の終りのことでした。私は、学校の帰り道を早足で歩いてきて、道を渡ろうと立ち止まりました。そこには、一人の老人が立っていました。車の行ききが多かったです。その上、信号はありません。この老人も渡るのかなと思ひ、その場で少し考えました。声をかけようか、どうしようかと。もう時計の針は五時をまわっています。いくら冬の終わりとはいえ、辺りはもうすっかり暗くなっています。私の心は、早く家にかえりたいとあせっていました。そしてさっと横断歩道を渡ってしまいましたが、でもそのまじよと心にひっかかるものがあったのです。心配になつて後をふりかえりました。「あ、その老人は、つえをついてゆつくりゆつくり渡りだしたのです。「パッパ」車かうるさくクラクションを鳴らしま

す。「じゃまだ、早くいけ」と老人をせかします。でも早く歩くわけにはいきません。つえをついて一歩一歩、一生懸命歩いていきます。「パッパ」クラクションが鳴りつづけます。そしてその老人がやっと渡りきったあと、すべてが動きだしました。

やさし・し・ね

山梨南中 小野 真由美



くるので、渡り始めたあとからでも、手は出せないのである時声をかけていけばよかったのに……。そんなことをいつか、もう一回遅いの、後の祭り、もう一つつづけます。そしてそのつづきの心がどんとどんとせめまします。私は、あそこで声をかけなかったことをよくや

で、手遅れになったとしたら、大変なことだと思ひます。もし私がそこにもいってやったりやじ馬でもできなかつたでしよう。そんなことをいつか、もう一回遅いの、後の祭り、もう一つつづけます。そしてそのつづきの心がどんとどんとせめまします。私は、あそこで声をかけなかったことをよくや

が歩いている人のことを気づかう、自転車の人を気づかう、対向車の動きを気づかう、その心のやさしさ、歩いている人が小さい子を気づかう、老人を気づかう、車の動きを気づかう、その心のやさしさ、それが一番 大事なことでないでしょうか。そうすれば、事故はなくなるはずで、県全体では、今年度、十月二十二日現在でもうすでに三千九百十一件の事故が発生しているそうです。

★改装した新しい広いコースで、全車種(普通、自二、けん引、大特、二種免許)の免許取得を！ 早朝、夕方、日曜その他生活条件に合わせた教習を！

財団法人 山梨県交通安全協会経営
公認 山梨自動車学校
中巨摩郡八田村野牛島1828
TEL (0552) 85-0752

交通事故ゼロの願いをこめて、昭和六十三年に使用する「交通安全年間スローガン」が決まりました。三部門の最優秀作品（一面掲載）と総務庁長官賞、警察庁長官賞及び佳作は次のとおりです。このスローガンを行動に移し、交通安全運動を大きく前進させたいものです。

総務庁長官賞

◆運転者（同乗者を含む）向け
たぐいまれな笑顔でほほえみながら、ヘルメット

◆歩行者・自転車乗用者向け
手をひいて、わが子に教える ルールとマナー

◆こどもからの募集
だめなのは、見えたつもりと 見たつもり

警察庁長官賞

◆運転者（同乗者を含む）向け
いつもより、スピード出てるよ おとっさん

◆歩行者・自転車乗用者向け
危険です。片手傘さし、二人乗り

◆こどもからの募集
青色は、進めじやなくて、よく見て進む

佳作（全日本交通安全協会会長賞）

◆運転者（同乗者を含む）向け
交差点、ほほえみかわして、ゆずりあい

◆歩行者・自転車乗用者向け
ヘルメット、あなたを守る パートナー

◆こどもからの募集
なぜ飲むの、飲んでハンドル、なぜ持つの

昭和63年交通安全年間スローガン

命を奪う、その一杯
ハンドルを、持つ手に、子がいる妻がいる
運転は、命がけより、心がけ
いけません、一杯ぐらいが、事故のもと
便利さを、知って忘れる、車のこわさ

◆歩行者・自転車乗用者向け

親と子の、願いはひとつ、交通安全
気をつけて、夕暮れ、雨の日、二人乗り

小さな目、あなたの横顔、見えています
自転車も、乗れば問われる、交通マナー

交差点、光るあなたの、よいマナー
ただいま、無事故で帰る、いい笑顔

あせらずに、つぎの青まで、待つ余裕
安全へ、上げる手つなぐ手、交差点

あさこほん、今朝の話題は、交通安全
茶の間から、交通安全育てる、我が家

◆こどもからの募集
あぶないよ、かけ出しとび出し、まがり角

飛び出すな、急ぐ心は、赤信号
一二三、とまってかまにか、おうだん

みましたか、止まりましたか、交差点
気をつけよう、危険がまっている、曲がりかど

ありがとう、人も車も、ゆずりあい
「気をつけて」、いつも背中に、母の声

あぶないよ、きゆうなとび出し、ふざけっこ
二人乗り、乗せない乗らない、きみと僕

やめようね、あそびながらの、登下校

地区だより

秋の交通安全運動

九月二十一日から三十日までの十日間、全国一斉に秋の交通安全運動が行われ、関係機関・団体や市民の協力により多彩な行事や交通安全啓蒙活動が展開されました。

期間中の交通事故は九十六件で前年同期と同じで、負傷者はわずかに減少したものの、死者は四人で前年同期と同じでした。一層の交通ルールの遵守とマナーの向上が求められます。

婦人交通指導員奮戦記

これは峡西地方のある町の婦人交通指導員の勤務日誌からの抜粋です。指導員のご苦労と上司の暖かい思いやりが日誌の中にも見られます。（資料提供 小笠原警察署）

二月二十六日(土)

朝〇〇農協東横断歩道立番、子供たちが横断歩道を渡ろうとしていたらオート

バイクが止まってくれた。その後方から乗用車が来て班長さんはその乗用車も止まってくれようと思ったのだらう。渡り始めるあわてて子供を止める。車は急ブレーキをかけたがそのまま走り去っていき、一台止まってくれたからと言って全部止まってくれればよかったらいいことを子供たちに話す。その時の私の態度はど



幼児の安全指導する婦人交通指導員



一日署長を先頭に交通安全パレード(甲府)



中道町交通ヘルパーの研修(南甲府)



安全運転を呼びかける日交通巡視員の増穂高生(諏沢)



黄色い羽根で交通安全を(上野原)

事故の危険いっぱい

なぜルールを守らない

カバンの中に入れたまままだ、もう学年は終わりと、四月からは一年生も一緒に登校してはほしいことを厳しく班全員に言う。午後〇〇保育所前横断歩道立番、雨のため子供だけ車から降りて行ってしまう親もいてびっくり。それも道路の反対側に、子供に交通安全教室をして、一生懸命教えてもルールを守らない大人が多く本場に情けない。

前の道路のコンクリートが少しくずれていたので修理を建設課に依頼する。隣の〇〇小学校へ自転車を教室実施の見学に行く。〇〇保育所交通安全教室の件を問い合わせる。五月二十五日(土)の朝、〇〇橋西詰街頭指導シートベルトとヘルメット着用を呼びかける。警察官、安協、女ドラの会、父母の会の役員さん参加の大会がかり街頭指導所の開設。シートベルトもヘルメットも

の姿を見てあわててもどって行った人もいたり、若い女性二人は手にヘルメットをぶら下げたまま平気で返事だけして行ってしまう。自転車の中学生は三列も四列も並んで通学していき、高学年ほどヘルメットをかぶっていない。本通りを外れた道路では甘えの考えがあるようだ。交通ルールを守らない人が多い。役所に戻ってノーマイカー運動市町村推進計画を書く。

九月四日(木)朝〇〇農協東横断歩道立番、登校班長が先に渡って副班長と一緒に渡らせると旗を出し班員を渡るというようにして渡らせた。私を呼んで来て、私の顔を見てまごまごしている班長が、この場所に限りが多い。カーブミラーが消滅のため真白になっていたので雑巾でふいてみたが落ちない

十二月十九日(金)朝〇〇小入口立番、先日あま小北交差点立番、先日もいかに全生徒を誉めたばかりだったのに、今朝は旗を忘れてしまった。二人、班から離れて一人、二人、三人で来たり、朝学校で調べなくなった。この状態なのか、何のために班長は旗を持ち集団登校してくるのか。これは朝先生に調べて怒られるから旗を持つて集団登校してくるという感じ。その都度注意する。午後〇〇署で人身事故調べ。

